

HPVワクチン

川口市立医療センター
産婦人科 **高島 絵里**



子宮頸がんは国内で年間約1.1万人が罹患し、約2,900人が死亡しており、患者数・死亡者数とも近年漸増傾向にあります。子宮頸がんの90%以上は、HPV(ヒトパピローマウイルス)が原因であることが分かっています。HPVには200種類以上のタイプ(遺伝子型)があり、良性の疣の原因になるタイプもあります。特に子宮頸がんの原因となりやすいタイプをハイリスクHPVと呼んでいます。HPVワクチンはハイリスクHPVのうち、特に子宮頸がんの原因として多い16型、18型に対して有効です。HPVは主に性交渉により感染が起こるので、初回性交の前にHPVワクチンを接種することで感染を予防することが期待できます。HPVワクチンは、接種後に多様な症状(頭痛、倦怠感、麻痺など)が報告されたことが報道などで取り上げられ、接種に不安を感じる人も多いと思います。しかし、これらの症状はHPVワクチン接種者特有のものではないことが調査で明らかとなり、2021年11月から厚生労働省はHPVワクチンの積極的勧奨を再開しました。日本産婦人科学会でもHPVワクチン接種を勧めています。すでにHPVワクチン接種が進んでいる欧米各国では、ワクチン未接種世代と比べて接種世代における子宮頸がん前がん病変の発生が有意に減少していると報告されています。一方、HPVが原因ではない子宮頸がんも、まれですがあります。ワクチン接種の有無に関わらず、子宮頸がん検診を受けることが早期発見のために重要です。

コロナ禍の口と歯の健康

マスクを着用する日々が続きますが、息苦しさからつい口呼吸になっていませんか?口呼吸で口内が乾燥したり会話を控えて口を動かさなくなると、唾液の量が少なくなり、口内の細菌が増加し、細菌や汚れを洗い流す作用が低下します。口臭やむし歯、歯周病のリスクが高まるなど、さまざまな影響が出ます。

歯周病に要注意

日本人が歯を失う2大原因は、むし歯と歯周病です。特に、歯周病は痛みのないまま進行し、気が付いた時には歯がグラグラして抜け落ちてしまいます。また、生活習慣病の1つともいわれ、糖尿病・心臓病・脳血管疾患・肺炎など、全身の病気に影響し合っています。

また、新型コロナウイルス感染症を恐れて、健診を過度に控えてしまうことは、むし歯や歯周病が悪化し健康上のリスクを高めてしまうことにもつながります。

大切な歯と口を守るために

- ・丁寧な歯磨き、デンタルフロスや歯間ブラシを使用したセルフケア
- ・定期的な歯科受診(プラーク(歯垢)や歯石の除去、歯周ポケットの洗浄など)
- ・生活習慣(食生活や喫煙)の改善
- ・こまめな水分補給 ・よく噛んで食べる ・ストレスの発散

成人歯科健康診査

歯や歯肉の状態からむし歯や歯周病の有無を確認し、噛み合わせを含めたお口の中全体を調べます。

※30歳以上の市民

※歯科健康診査…500円、歯科健康診査+歯科ドック…2,000円

※歯科ドックは歯科健康診査との同時受診のみ

歯科ドック

唾液検査によって、むし歯菌などの活動判定や歯周炎に伴う潜血反応などから、お口の中の病気のリスクを調べます。



毎日の口腔ケアと定期的な歯科受診で、いつまでも美味しく食べられる歯を保ち、笑顔で過ごしましょう。

問地域保健センター ☎048-256-2022 FAX048-256-2023

イベントスケジュール

25日(水)~29日(日)

GI川口記念
場川口オートレース場



5月

5日(日)

歯と口の健康フェスティバル
場リリア1階展示ホール

6月

→30ページ



川口市 広報課 職員による
ちょっとくだけた!? 市政情報番組
85.6 MHz City Information
FM Kawaguchiで放送中
放送日: 平日の10分間...10:00、13:50、17:50、20:00

LINE 川口市 公式アカウント
LINE ID @kawaguchi.city
※きらり川口情報メールと同じ内容の受信も可能

暮らしに役立つ ぜひご利用ください
きらり川口情報メール



道を切り開き、見えてくる世界

和風照明製造 福島 哲郎さん
ふくしま たつろう

油に浸した布などにつけた火を、和紙を貼った覆いで風から守り、照明とする「行燈」。ランプの普及によって徐々にその姿を消していった江戸時代の代表的な照明を、日本伝統の着物などの生地を使い、新しい形で再構築した「クロスアート行燈」が、日本のみならず海外でも高い評価を受けている。第一人者の福島さんは「浮世絵の柄などは特に海外で喜ばれます。未踏の挑戦で、周りを驚かせたいんです」と笑顔で話す。

平成18年、長年勤めた建設会社の定年退職をきっかけに一念発起。自宅の一室を工房に改装し、当初は憧れであったステンドグラスを制作。一年を待たず、自分独自の作品を制作したいという強い想いが、和柄などの布を用いるという独自のアイデアを生み出した。

工房に貼られた「我より古をなす」の言葉。その気概を持って制作された行燈の数は千を超える。光をうまく拡散させるため布の裏に和紙を挟んだものを樹脂板に貼り、最も柄が美しく見える光源の高さをミリ単位で調整。各地を飛び回り気に入る柄の古布を探す傍ら、技能の向上を図る日々。編み出した樹脂板を曲げる独自の工法は思いのままの表現を可能にし、貪欲な創

